

北海道	〒060-0001 札幌市中央区北1条西7-1 プレスト1・7ビル2F	TEL: 011-242-7701 FAX: 011-242-7702	滋賀	〒520-0047 大津市浜大津1-2-22 大津商中日生ビル8F	TEL: 077-510-0770 FAX: 077-510-0775
青森	〒030-0862 青森市古川2-20-3 朝日生命青森ビル8F	TEL: 017-731-3661 FAX: 017-731-3660	京都	〒604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル 梅屋町361-1 アーバネックス御池ビル東館5F	TEL: 075-212-2600 FAX: 075-212-2700
岩手	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス14F	TEL: 019-621-5366 FAX: 019-621-5367	大阪	〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-3 エル・おおさか南館9F	TEL: 06-6944-1191 FAX: 06-6944-1192
宮城	〒980-6015 仙台市青葉区中央4-6-1 SS3015F	TEL: 022-267-4229 FAX: 022-267-4283	兵庫	〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-20 ジイテックスアセントビル8F	TEL: 078-230-0283 FAX: 078-230-0284
秋田	〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6 秋田県総合保健センター4F	TEL: 018-884-7771 FAX: 018-884-7781	奈良	〒630-8115 奈良市大宮町1-1-32 奈良交通第3ビル3F	TEL: 0742-25-3100 FAX: 0742-25-3101
山形	〒990-0047 山形市旅籠町3-1-4 食糧会館4F	TEL: 023-624-5188 FAX: 023-624-5250	和歌山	〒640-8137 和歌山市吹上2-1-22 和歌山県日赤会館7F	TEL: 073-421-8990 FAX: 073-421-8991
福島	〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル10F	TEL: 024-526-0526 FAX: 024-526-0528	鳥取	〒680-0846 鳥取市扇町115-1 鳥取駅前第一生命ビルディング6F	TEL: 0857-25-3431 FAX: 0857-25-3432
茨城	〒310-0021 水戸市南町3-4-10 水戸FFセンタービル8F	TEL: 029-300-1221 FAX: 029-227-1335	島根	〒690-0003 松江市朝日町477-17 松江SUNビル7F	TEL: 0852-59-5801 FAX: 0852-59-5881
栃木	〒320-0811 宇都宮市大通り1-4-24 MSCビル4F	TEL: 028-643-0685 FAX: 028-643-0695	岡山	〒700-0907 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング12F	TEL: 086-212-1222 FAX: 086-212-1223
群馬	〒371-0022 前橋市千代田町1-7-4 群馬メディカルセンタービル2F	TEL: 027-233-0026 FAX: 027-233-9966	広島	〒730-0011 広島市中区基町11-13 合人社広島紙屋町アネクス5F	TEL: 082-224-1361 FAX: 082-224-1371
埼玉	〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19 全電通埼玉会館あけぼのビル3F	TEL: 048-829-2661 FAX: 048-829-2660	山口	〒753-0051 山口市旭通り2-9-19 山口建設ビル4F	TEL: 083-933-0105 FAX: 083-933-0106
千葉	〒260-0013 千葉市中央区中央3-3-8 日進センタービル8F	TEL: 043-202-3639 FAX: 043-202-3638	徳島	〒770-0847 徳島市幸町3-61 徳島県医師会館3F	TEL: 088-656-0330 FAX: 088-656-0550
東京	〒102-0075 千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F	TEL: 03-5211-4480 FAX: 03-5211-4485	香川	〒760-0050 高松市亀井町2-1 朝日生命高松ビル3F	TEL: 087-813-1316 FAX: 087-813-1317
神奈川	〒221-0835 横浜市神奈川区 鶴屋町3-29-1 第6安田ビル3F	TEL: 045-410-1160 FAX: 045-410-1161	愛媛	〒790-0011 松山市千舟町4-5-4 松山千舟454ビル2F	TEL: 089-915-1911 FAX: 089-915-1922
新潟	〒951-8055 新潟市中央区礎町通二ノ町 2077 朝日生命新潟万代橋ビル6F	TEL: 025-227-4411 FAX: 025-227-4412	高知	〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター3F	TEL: 088-826-6155 FAX: 088-826-6151
富山	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル(タワー111)4F	TEL: 076-444-6866 FAX: 076-444-6799	福岡	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-30 福岡県メディカルセンタービル1F	TEL: 092-414-5264 FAX: 092-414-5239
石川	〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス金沢8F	TEL: 076-265-3888 FAX: 076-265-3887	佐賀	〒840-0816 佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル4F	TEL: 0952-41-1888 FAX: 0952-41-1887
福井	〒910-0006 福井市中央1-3-1 加藤ビル7F	TEL: 0776-27-6395 FAX: 0776-27-6397	長崎	〒852-8117 長崎市平野町3-5 建友社ビル3F	TEL: 095-865-7797 FAX: 095-848-1177
山梨	〒400-0047 甲府市徳行5-13-5 山梨県医師会館2F	TEL: 055-220-7020 FAX: 055-220-7021	熊本	〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3F	TEL: 096-353-5480 FAX: 096-359-6506
長野	〒380-0935 長野市中御所1-16-11 鈴正ビル2F	TEL: 026-225-8533 FAX: 026-225-8535	大分	〒870-0046 大分市荷揚町3-1 いちご・みらい信金ビル6F	TEL: 097-573-8070 FAX: 097-573-8074
岐阜	〒500-8844 岐阜市吉野町6-16 大同生命・廣瀬ビル8F	TEL: 058-263-2311 FAX: 058-263-2366	宮崎	〒880-0024 宮崎市祇園3-1 矢野産業祇園ビル2F	TEL: 0985-62-2511 FAX: 0985-62-2522
静岡	〒420-0034 静岡市葵区常磐町2-13-1 住友生命静岡常磐町ビル9F	TEL: 054-205-0111 FAX: 054-205-0123	鹿児島	〒890-0052 鹿児島市上之園町25-1 中央ビル4F	TEL: 099-252-8002 FAX: 099-252-8003
愛知	〒461-0005 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2F	TEL: 052-950-5375 FAX: 052-950-5377	沖縄	〒901-0152 那覇市字小祿1831-1 沖縄産業支援センター2F	TEL: 098-859-6175 FAX: 098-859-6176
三重	〒514-0003 津市桜橋2-191-4 三重県医師会館5F	TEL: 059-213-0711 FAX: 059-213-0712	全国統一ダイヤル	〒0570-038046 (このナビダイヤルは、最寄りの産業保健総合支援センターに着信します。) サンボロシロウ	

産業医・産業看護職・衛生管理者の情報ニーズに応える

産業保健21

特集 職域における 合理的配慮を考える

労働衛生対策の基本
分散型事業場とその対策

中小企業の産業保健
株式会社タック

インタビュー産業医に聞く
株式会社平和堂 統括産業医 河津 雄一郎

若手社員中心に「クレド」を策定 ベテランも巻き込み施策を展開

株式会社タック



2022年1月に開催された経営方針発表会（一時的にマスクを外して撮影）

岡山県備前市に本社のある株式会社タックは、陶磁器や耐火原料の採掘販売業として1932年に創業した老舗企業だ。現在はシールドトンネル工事をはじめとした地下空間の整備事業を主体に行い、1,500を超える現場で実績を積み重ねてきた。

2021年には「ものづくり日本大賞」の「経済産業大臣賞」、2022年には「国土技術開発賞」の「創意開発技術賞」を受賞するなど、技術面への評価は高い。さらに、2018年から健康経営優良法人に継続して認定され、2021年にはプライト500認定も取得するなど、社員の健康管理に配慮する企業としても認められている。

そこで、同社の健康と産業保健に関する取組について、取締役総務部長の高橋千亜紀さんにお話を伺った。

社長は聞き役に徹してボトムアップにシフト

同社では若手社員を中心にクレド[※]を策定し、ベテラン社員とのバランスにも配慮しながら全社的な経営の意思決定を行って、これが社員の健康づくりに関する戦略的な施策の基盤になっている。

「クレド策定のきっかけは、約11年前、当社の瀧川社長が経営の勉強会に参加したときに『意思決定をトップダウンからボトムアップにシフトしていかないと、会社としての成長はない』と指摘されたことでした」と高橋さんは振り返る。この指摘に同意した社長がクレド活動を取り入れ、若手を中心に自分たちで話し合っただけで決めるという社風が定着していく。

策定を始めた当初はさまざまな発言が飛び出し、ベテラン社員からは少なからず反発もあったというが、そこを社長がぐっと我慢して聞き役に徹し、社員全員の意見や思いを反映したクレドをつくり上げた。「自分たちでつくり上げたからこそ、実行しなくてはいけないという使命感も出ている」と、高橋さんは社員主導で取り組む意義を語る。

ただし、クレドが策定されるずっと以前から、同社では安全衛生活動を継続してきた実績がある。毎月1回の安全衛生協議会は、記録があるだけでも25年以上前から開催していたという。この協議会には全員参加が原則だ。開催日時は毎月1日の午後1時半から、出張などでどうしても参加できない社員以外は上海やシンガポール、東京、大阪などの支社からもリモートで全員が参加する。

一会議一発言を徹底して社員の発信力を磨く

協議会は社長挨拶から始まり、今月の安全目標の発表と説明、毎年1月の経営計画発表会で決定した毎月の「月間フィロソフィー」について、社長から説明がある。例えば1月なら「常に明るく」という目標で、それについて社長が話すとのこと。また、「安全運転宣言」として、交通安全の担当者が事故防止について事例を挙げて注意を喚起する。本社だけでなく、同社テクノセンターにも「安全当番」があり、ワイヤー点検、ごみ処理などの状況を報告する。

さらに同社には“資質向上委員会”、“行動規範委員会”、“ハウレンソウ（報連相）委員会”、“品質向上委員会”という4つの委員会があり、役員以外の全員がいずれかの委員会に割り振られている。この各委員会がそれぞれ1カ月の間行った活動や、今後の計画などを報告するのもこの協議会だ。こうしてそれぞれの立場から、全員参加で意見を発表することを徹底している。

「もちろんメールでのやり取りもしますが、仕事の内容や安全健康面について、共通理解を促す場としてこの協議会を重要視しています」と高橋さん。

クレドの最後には、「私達は笑顔を忘れることなく、互いに発言しやすいムードをつくり一会議一発言を心がける、日本一明るい会議を目指します」という項目がある。

「リモートではなおさらコミュニケーションは重要になってきます。『どうやったら相手に伝わるか』について、みんなが経験を積むことで、発信する能力が高まってきました」と高橋さんは実感している。良好な社内コミュニケーションは社員のモチベーションを高め、メンタルヘルスにもよい影響を及ぼしている。

日本縦断を目指した歩数カウントと社員同士を結びつける感謝カード

委員会発の健康施策で好評なのは、ハウレンソウ委員会の発案で行った「歩数カウント」という取組だ。全員に歩数計を配布し、日本縦断地図で距離を毎日記録して、月間順位や平均を発表するというもの。3～4年続けているというが、最近はいつも歩く人だけが上位にくること

がないように、「前回より記録が伸びた人」という項目を設けるなど、全員に参加意欲が湧くよう工夫しているという。

もう1つ同社が力を入れているものに「感謝カード」がある。「普段なかなか言えない、ありがとうという気持ちを伝えるものですが、些細なことでもありがとうと言える人はすごいし、感謝される人もすごいと思います。読んでだけで気分がよくなるような内容です。喜んだということを手元に伝えるだけではなく、社内全体に配信されているので、心のケアや、心の幸福度向上につながっていると思います」と高橋さんはその意義を語る。感謝カードの1枚1枚が、社員同士を結びつける健康経営の重要な施策の1つなのだ。

80歳で現役！ よい手本を目標にいつまでも働ける会社に

高橋さんが取締役総務部長を拝命したとき、「みんなが幸せになる！」という目標を立てた。これは「社員に幸福（しあわせ）を！ お客様に喜びを！ 社会に貢献を！」という会社の「フィロソフィー」に合致したものだ。

現在目指しているのは「みんな元気で、いつまでも働ける会社」だ。同社には2022年2月で80歳になった社員が元気に働いているという。「声も大きいし、社内で一番元気で仕事もできる。『後ろに目がある』と言われるぐらいの技術を持ったお手本になる方がいるので、そういう人を目指して自分たちも働いていきたい」と高橋さんは語る。

同社に勤務中はもちろん、退職後も元気であり続け、「タックで働いてよかった」と思えるような会社づくりが高橋さんの理想だ。そのためには健康寿命を意識して、仕事とプライベートを充実させることによって社員や家族の満足感・達成感も味わえるような取組に今後も挑戦し続けたいと、高橋さんは決意を新たにしている。

※ クレド（Credo）：信条、志、約束などを意味し、企業活動の拠り所となる価値観や行動規範を簡潔に表現したもの。

会社概要

株式会社タック
事業内容：シールドトンネル工事関連の材料開発・販売・リースなど
設立：1957年（創業：1932年）
従業員：60名（グループ会社含む）
所在地：岡山県備前市